

平成18年の主な事業

- ・2007年FISノルディックスキー世界選手権大会プレ大会の開催【1・3月】

2005/2006シーズンのワールドカップのうち札幌で行われる大会を2007年FISノルディックスキー世界選手権大会のプレ大会として位置付け、各業務のテストおよび検証を行います。

1月21日と22日に大倉山ジャンプ競技場でジャンプ競技が行われるほか、3月18日と19日には、大倉山ジャンプ競技場と白旗山競技場でノルディックコンバインド（複合）競技が、白旗山競技場でクロスカントリー競技が行われます。

いずれも国際スキー連盟、(財)全日本スキー連盟、(財)北海道スキー連盟、(財)札幌スキー連盟の共催。

担当:(財)2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会 281-2007
- ・中央卸売市場青果棟の完成【2月】

平成16年8月から新築工事を進めてきた中央卸売市場青果棟が2月末に完成します。中央卸売市場では、平成10年度から施設の全面建て替えを行う再整備事業を進めており、平成12年8月に立体駐車場、平成15年12月には青果棟と並ぶ基幹施設である水産棟が完成しています。

18年度には、「センターヤード」(屋根付き駐車場)など、残りの施設を建設し、19年度に全面オープンする予定です。

担当:経済局中央卸売市場再整備担当課 611-3116
- ・屯田北児童会館オープン【3月】

平成17年8月から新築工事を進めてきた、市内104カ所目となる屯田北児童会館が、3月にオープンします。この施設は、地元の小学4年生から高校生までの児童で組織された「屯田北児童会館建設子ども検討委員会」の意見を取り入れ、市内では初めてとなる、液晶プロジェクターと大きなスクリーンが設置された「音楽・映画ルーム」や、簡単な調理や調理したものをその場でみんなで食べることができる「調理・ランチルーム」など、多機能・多目的なスペースを設置しています。

愛称は、同委員会の意見や地域の児童を対象としたアンケート調査により「屯珍館」(とんちんかん=屯田にある珍しい児童会館)に決定。

担当:子ども未来局子ども育成部子ども企画課 211-2982
- ・旧永山武四郎邸保存改修工事の完了【3月】

平成17年9月から進めてきた北海道指定有形文化財・旧永山武四郎邸の保存改修工事が完了します。旧永山邸は、開拓使に出仕し屯田兵設置に尽力、後には北海道庁第2代長官などを歴任した永山武四郎の私邸で、明治10年代前半に建築されたもの。この工事は、老朽化した旧永山邸を創建当初の形に近い状態に復元し、文化財としての歴史的価値を高め、正しく後世に伝えることを目的として進めてきたもので、こうした大規模な保存改修を行うのは17年ぶりです。

なお、一般公開は5月初旬に再開する予定です。

担当:観光文化局文化部文化財課 211-2312

・円山小学校新校舎の完成【3月】

昭和34年から昭和42年にかけて建設された校舎が老朽化したため、平成17年6月から建て替え工事を進めてきた円山小学校の新校舎が、3月に完成します。車いす利用者でも使いやすいエレベーターやトイレを設けるなどバリアフリー化を図っているほか、職員室を1階に配置し、不審者の早期発見など安全管理にも配慮しています。

また、校内の暖房エネルギー量の減少や建物の長寿命化に効果のある外断熱工法を市内の学校では初めて採用しました。

担当：教育委員会総務部計画課 211-3835

・札幌市立大学の開学【4月】

札幌市が初めて設置する大学である札幌市立大学が4月に開学します。場所は、大学本部およびデザイン学部がある芸術の森キャンパスが南区芸術の森1丁目、看護学部がある桑園キャンパスが中央区北11条西13丁目で、学長（理事長）予定者は、原田 昭（はらだ・あきら）氏となっています。

同大学は、「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」の2つの理念を掲げ、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象としています。

また、デザイン学部と看護学部を併せ持つという特徴を生かした両学部の連携や、市民、産業界、行政などと連携することにより幅広いネットワークを持った大学として、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指します。

担当：市民まちづくり局企画部大学設置準備室 211-2182

・はちけん地区センターオープン【4月】

平成17年3月から西区八軒に建設を進めてきた「はちけん地区センター」が4月1日(予定)にオープンします。同センターは、全市では23番目、西区では3番目の地区センターとなります。場所は、西区八軒6条西2丁目で、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て、敷地面積は2,335.95平方メートルとなっています。

なお、体育館や集会室等、貸室の利用申込については、3月から同センターで受け付けを行う予定です。

担当：西区市民部地域振興課 代641-2400

・豊平区・西区・手稲区保育・子育て支援センターオープン【4月】

平成17年6月から整備を進めてきた豊平区保育・子育て支援センターとともに、既存施設を利用した西区、手稲区の保育・子育て支援センターが4月にオープンします。札幌市では、「さっぽろ子ども未来プラン（札幌市次世代育成支援対策推進行動計画）」において、すべての子育て家庭に対する支援の充実を図るため、各区への保育・子育て支援センターの設置を推進することにしており、今回のオープンはその皮切りとなるものです。

区の保育・子育て支援センターは、従来の保育所としての機能のほか、相談やコーディネート、親子の交流促進といった子育て支援に関するさまざまな機能を併せ持った施設です。常設の子育てサロンの設置や一時保育事業の実施等、特別保育事業を積極的に推進するほか、育児不安や疾病、養育困難などに関する相談に対し、区保健センターや他の乳幼児施設、児童福祉総合センターなどと密接に連携して対応するなど、子育て支援の推進を図ります。

担当：子ども未来局子育て支援部保育課 211-2986

・山口斎場の供用開始【４月】

平成１６年４月から建設工事を進めてきた山口斎場が、４月に供用を開始します。この施設は、民間の資金や技術能力などを活用して、公共施設の設計、建設、維持管理、運営を行う「PFI手法」を、本市の施設で初めて導入したものです。

また、雪冷房システムの採用や光ダクトによる自然採光の活用など、自然エネルギーの有効利用に積極的に取り組むほか、最新技術を取り入れた火葬炉や集じん機の導入により、ダイオキシン類の排出を抑制するなど環境に配慮しています。

担当：保健福祉局健康衛生部生活環境課 ２１１－２８６２

・円山動物園展望レストハウスオープン【４月】

平成１７年１０月から新築工事を進めてきた円山動物園展望レストハウスが、４月にオープンします。この施設は、サル山に併設して建設を行い、それらをサルが歩行する「散路」で結ぶことで、目の前まで近づくサルをガラス越しに見ることができます。

また、太陽光発電を導入して、その仕組みも学習することができる施設になっています。約１３０人収容可能。

担当：環境局円山動物園管理課 ６２１－１４２６

・札幌市資料館のリニューアルオープン【８月】

札幌市資料館は、大正１５年に札幌控訴院（のちの高等裁判所）として建てられた歴史的建造物であり、国の登録有形文化財に選定されています。

これまで資料館で行われていた歴史や文化に関する資料の収集・保存、市史の編さん、郷土史相談などの機能が豊水小学校跡利用施設に移転することに伴い、大通公園の歴史等を紹介する展示室を設置するほか、法および司法に関する学習機会を提供するために、当時の刑事法廷を復元するとともに、裁判員制度など司法制度が学べる展示室を設置します。

改修工事は３月末から開始し、７月末までに完了予定。ミニギャラリー等の有料施設は８月から供用を開始し、展示室の公開を含めた全面オープンは１１月を予定しています。

担当：教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 ２１１－３８７１